



◀つるふじばかま(まめ科)

葉は互生し、10~16枚の小葉よりなる。花は葉腋からのびた柄にたくさんつき、紅紫色の蝶形花。

花期 8~10月

草たけ つる性の多年草

生育地 山野の明るい草地

茎は地面をはう。葉は対生する。花は淡紫色で、鐘形のもものが葉腋につく。果実は8mm位の球形の液果で、紅紫色に熟す。

花期 8~10月

草たけ つる性で長さが40~90cm位となる

生育地 林の下の半日陰地

▶つるりんどう(りんどう科)



つるりんどうの花

○液果(えきか)

熟(じゆく)すと水気の多い果皮をもつ果実。多肉果ともいう。

果肉に水分のない果実を乾果という。子房に養分がたくわえられてできた果実はほんとうの果実で、リンゴのように花托に養分がたくわえられたのを偽果という。



◀はぎ(まめ科)

落葉低木。葉は互生し、三出複葉、葉のつけ根から花序を出し、紅紫色のちょう形花をつける。秋の七草の一つのハギは一般にこれで、ヤマハギともいわれます。

花期 8~10月

草たけ 100~200cm

生育地 山野, 栽培